

(講座) 感染分子病態学

(研究室) 感染分子薬学

(氏名) 北里海雄

(職名) 准教授

### 【研究テーマ】

1. MIP-T3 遺伝子の分子機能に関する研究
2. 抗ウイルス活性分子の探索とその作用機序に関する研究

### 【論文発表】

#### A 欧文

##### (A-a) 原著論文

1. Adachi K, Ichinose T, Watanabe K, **Kitazato K.**, Kobayashi N. Potential for the replication of the betanodavirus redspotted grouper nervous necrosis virus in human cell lines. Arch Virol. 153(1):15-24. 2008 (IF 1.85).
2. Ren Z, Zhang M-Y, **Kitazato K.**, Kobayashi N, Zhu Q-C, Zhang P-Z, Yang Z-R, Wang Y-F. Effect of siRNA on HSV-1 plaque formation and relative expression levels of UL39 mRNA. Arch Virol. 153(7):1401-1406, 2008(IF 1.85).

##### (A-b) 総説

#### B 邦文

##### (B-b) 総説

### 【学会発表】

#### B 国内学会

##### (B-b) 一般講演

1. 渡辺健、滝沢直己、野田彩衣子、塚原富士子、丸義朗、**北里海雄**、小林信之 ヒートショック蛋白質Hsc70 がインフルエンザウイルスRNP の核外輸送に関与する 第128回日本薬学会年会2008年3月, 横浜
2. **北里海雄**、高塚昌孝、小林信之、微小管結合蛋白質 MIP-T3 の安定性解析、日本生化学会九州支部会, 2008年5月, 福岡
3. **北里海雄**、高塚昌孝、熊盛、布施隆行、郭朝万、劉格、大原直也、MIP-T3 のC末端は微小管結合と蛋白質の安定性制御に重要である、第31回日本分子生物学会年会、第81回日本生化学大会合同大会(BMB2008), 2008年12月, 神戸

## 【特許】

## 【研究費取得状況】

財団法人東京生化学研究会 アジア地域招聘国際共同研究助成金（代表）

## 【学会役員等】

### 【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	22 編	（邦文）	1 編
総説（欧文）	3 編	（邦文）	3 編
著書（欧文）	2 編	（邦文）	3 編
紀要（欧文）	1 編		
特許	2 件		